

●ALT に職場体験学習を紹介するスピーチ原稿を書こう●

本単元で育成する資質・能力

(教科) 思考力・判断力・表現力

(学校) 主体性、コミュニケーション能力

1 日 時 令和6年9月25日(水) 12:30～13:20

2 学 年 第2学年3組 (男子14名 女子13名 合計27名)

3 場 所 本館3F 2年3組教室

4 単元について

○ 単元観

中学校学習指導要領では、中学校外国語科においては、次に示す資質・能力の育成を目指すことと示されている。

- (1) 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解するとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。【思考力，判断力，表現力等】
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。【学びに向かう力，人間性等】

また，「実際に英語を用いた言語活動の中で思考・判断・表現することを繰り返すことを通じて知識及び技能が習得され，学習内容の理解が深まり，学習に対する意欲が高まるなど，三つの資質・能力が相互に関係し合いながら育成される必要がある」とされている。

本単元は、『中学校学習指導要領外国語編』の目標「(4) 話すこと〔発表〕イ「日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」を中心に，複数領域にまたがる統合的な言語活動を進めることのできる単元である。「まとまりのある内容を話す」ためには，伝えようとする内容や，聞き手に分かりやすい展開や構成を考えて，それらをキーワードでメモするなどして整理し，そのメモを活用しながら相手と口頭で伝え合う力の育成が求められる。

これらの力の育成にあたり，本単元の価値は次の通りである。1つ目は，単元を通して職業や将来の夢についての話題を扱うことで，自らの職業観や将来について考えを深め，それらについて自分の経験や体験と結びつけながら思いや考えを英語で表現する力を高めることができることである。本単元の題材は，自分が好きなことや得意なことなどについて自己理解を深めながら将来の仕事について考え，10年後の自分にメッセージを書くという内容になっている。本単元の前の単元 Unit 3 My Future Job では，職業や職場体験についての英文が取り扱われており，これからの社会を想像し，自分の将来像や夢について考えさせる内容となっている。本単元では，Unit 3での学習内容を踏まえ，将来の夢とともに，自分の職場体験学習での体験についても表現させることで，より詳しく自己表現をさせることができる。生徒は，9月に職場体験学習が実施されており，それぞれの生徒が自分の実体験を踏まえた表現をすることが可能であり，意欲的に表現活動に取り組むことができる。また，総合的な学習の時間での学びをさらに英語の時間で活用したり関連づけたりするなど教科横断的な視点で学習を進めることで，学びがさらに深まると考えられる。

2つ目は，系統性を踏まえた授業を展開し，既習事項をスパイラルに活用することで，徐々に知識・技能が定着し，相手や目的に応じた表現方法を思考し，判断し，表現する力を養うことができる単元である。生徒は小学校で want to を使って自分の夢や中学校でやりたいことなどについて英語

で話した経験がある。また、中学校第1学年でも、自己紹介や他者紹介活動など、自分自身や身近な話題について伝えたい内容を整理して表現する活動を行ってきた。本単元では、既習事項を確認しながら、過去形や不定詞を使って、職場体験学習で体験したことや学んだことを表現させるとともに、接続詞や未来形を用いて、将来のために今後しようと思うことなどを表現させることができる。本単元を通して、既習事項を実際のコミュニケーションの場面において繰り返し活用することで、生徒に自信が生まれ、主体的に学習に取り組む意欲も高まることが期待される。

○ 生徒観

令和6年8月に行った生徒アンケート及び令和6年1学期定期試験の結果は次の通りである。

令和6年8月生徒アンケート (2年3組生徒に実施)

〔表1〕

項目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
英語の授業に、意欲的に取り組んでいる。	48%	48%	4%	0%
自分の気持ちや考えを簡単な英語で表現することができる。	32%	48%	12%	8%
自分の考えを表現するときには、自分の考えがうまく伝わるように、話の組み立てを工夫して表現している。	16%	52%	20%	12%
英語の授業で難しいことでもあきらめないで努力している。	40%	48%	12%	0%

〔表2〕

項目	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
英語の技能のうち、苦手なもの、難しいものは次のどれですか。	16.7%	12.5%	33.3%	37.5%

〔表3〕

項目	スピーチなどの発表	ペアでのやり取り
「話すこと」のうち、苦手なものはどれですか	91.7%	8.3%

〔表4〕

項目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
将来の夢や目標を持っている。	40%	20%	36%	4%

アンケート表2の結果から、本学級の生徒は「話すこと」(33.3%)及び「書くこと」(37.5%)などの表現活動に苦手意識を持っている生徒が多い。表3の結果から、特にスピーチなど人前で発表することに苦手意識を持っている生徒が多く、普段の授業でも発表の声が小さい。表1の「自分の気持ちや考えを簡単な英語で表現することができる。」という項目についても否定的評価が20%あり、表現力に自信がないことが分かる。これは、「文の組み立て方がわからない/難しい。」「文法やルールがわからない。」「自分の考えを伝えるときに単語がわからない。」という記述からも見られるように、自分の気持ちを表現するための語彙や文法の定着が不十分であることが原因として考えられる。また、「簡単な英語で表現できる」と答えた生徒の中にも、「話の組み立てを工夫して表現している」という項目については肯定的に答えている生徒の割合が低い。これは、伝えたい内容や聞き手に分かりやすい展開など、話す内容を整理し、構成することに難しさを感じていることが原因であると考えられる。そこで、自分の気持ちや考えを表現するための語彙や表現の習得を図るため、繰り返し音声面での表現活動に取り組ませるとともに、ペアやグループでの表現活動を積み重ねて、全体の前で自信を持って発表できるようにさせることが必要である。さらに、表4の「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒は6割しかいないため、総合的な学習の時間での取組と関連付けながら、本単元を通して、将来への生き方についてさらに深く考えさせる必要がある。

令和6年度1学期期末試験

〔 〕内の語を並びかえて文を完成させない。

デイビッドは頭痛がしたので、早く家に帰りました。

〔David / he / because / went / had / home / a headache / , 〕 early.

〔出題の趣旨〕語と語のつながり注意して正しく文を書くことができるかどうかを見る。

〔正答〕〔Because David had a headache, he went home〕 early.

	2 学年全体	2 年 3 組
通過率	68.8%	61.5%

類 型	解 答 類 型	2 学年全体 の割合	2 年 3 組 の割合
1 ○	Because David had a headache, he went home	68.8%	61.5%
2 ×	David had a headache, because he went home	14.3%	11.5%
3 ×	上記以外の解答（例 代名詞の誤り、語順の誤り、単語の羅列）	14.3%	23.1%
0	無解答	2.6%	3.8%

〔誤答分析〕

類型 2 について

「主語＋動詞＋目的語」の語順は理解できているが、接続詞についての理解が不十分である。

類型 3 について

「主語＋動詞＋目的語」の語順についての理解が不十分である。

令和6年度1学期中間試験 記述問題

尾道を訪れた外国人に、尾道のおすすめの場所を尋ねられました。おすすめの場所とその理由を伝える英文を3文以上で書きなさい。ただし、最初の文は「尾道には、○○な□□があります」という文から書き始めなさい。

〔出題の趣旨〕語と語のつながり、文と文のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるかどうかを見る。

〔正答例〕There is a famous temple in Onomichi. It's Senkoji-temple. In spring, you can see beautiful cherry blossoms there.

	2 学年全体	2 年 3 組
通過率	67.1%	65.4%

類 型	解 答 類 型	2 学年全体 の割合	2 年 3 組 の割合
1 ○	3 文以上の英文で文法的に正しく書いている。There is ～の構文及び、おすすめの場所とその理由の文を正しく書いている。	43.0%	34.6%
2 △	3 文以上の英文で書いているが、内容を理解する上で支障のない誤り（例：綴りの誤り、主語の誤り、動詞の誤り、形容詞の誤り、冠詞の誤り、前置詞の誤り等）が、1～3 か所ある。	24.1%	30.8%
3 ×	3 文以上の英文で書いているが、内容を理解する上で支障のある誤り（例：語順の誤り、主語の欠落、主語の誤り等）が多い。	11.4%	11.5%
4 ×	上記以外の解答（例：3 文書けていない。文構造の誤り、単語の羅列）	10.1%	15.4%
0	無解答	11.4%	7.7%

〔誤答例〕主語の誤り We can eat delicious ice cream.

（誰に対してか、コミュニケーションの目的を理解していない）

冠詞の欠落 There is temple in Onomichi.

動詞の誤り Onomichi is a famous temple.

主語の欠落 There is watch many ships.

語順のミス Onomichi station near delicious ramen

1 学期定期試験の結果から、この単元における生徒の課題は次の2点が考えられる。一つ目は、文構造や語法の理解が不十分で、語と語のつながりに注意して正しく文を書くことができない点である。特に、意味の伝達において重要な役割を担っている語順についての理解が不十分である。二つ目は、内容的にまとまりのある一貫した文章を書く力が十分ではないという点である。because などの接続詞の理解が不十分で、文と文の順序や相互の関連に注意して文章を書く力に課題がある。

○ 指導観

指導にあたっては、生徒実態を踏まえ、指導改善のポイントとして、次の2点に取り組む。

1つ目の課題「語と語のつながりに注意して正しく文を書くことができない。」については、語順カードを利用して、日本語とは異なる英語の文構造を提示する。また、表現したい意味内容の日本語を、チャンクごとに英語の語順に並びかえさせることで、日本語と英語の統語的特徴の違いを理解させたい。例えば、英語の動詞と目的語、前置詞と目的語、助動詞と動詞、名詞と後置修飾句などの語順が日本語と逆になることや、日本語の文においては主語が省略される場合があり、英文を作成する際には主語を補って考えなければならないことに留意させたい。

2つ目の課題「内容的にまとまりのある一貫した文章を書く力が十分ではない」については、思考ツールを活用して自分の考えを整理しながらパラグラフの文章構成を考えさせる。また、まとまりのある一貫した文章を書く上で必要な結束性や一貫性について理解させるために、二種類の異なった英文を提示し、比較させることで、その違いに気づかせたい。

前述の指導のポイントを踏まえながら、本単元を以下のように展開する。

単元の導入時に、ALTからのビデオメッセージを提示し「新しく日本に来たALTに、自分たちの職場体験学習を紹介しよう」という単元のゴールを設定することで、生徒に目的意識を持たせる。また、小学校6年の単元(My Future, My Dream)での夢宣言での活動を想起させ、言語活動の見通しをもたせるとともに、既習事項の活用を促す。

複数のまとまりのある文章を話したり書いたりすることに苦手意識を持っている生徒が多いため、単元のゴールに向けて単元全体を通して帯学習の時間やまとめの時間で準備を積み上げていき、苦手な生徒でも1回1回の授業で分かったことが徐々に増えていくようにスモールステップで授業を構成していく。具体的には、以下の手順でスピーチ原稿を完成させる。

- ① 思考ツールを活用して、思考や情報の整理をし、キーワードで書き出す。
- ② モデル文を読み、その中から使えるような表現や型を抜き出し、口頭練習をして覚える。
- ③ 作成したメモを頼りにインタビューに答える対話活動を毎時間行う。
- ④ 毎時間のまとめの時間で、やり取りしたことを文で書く。書くことで正確性を意識する。
- ⑤ ③と④を繰り返す中で、徐々に文を付け加えていき、より説得力のある文にしていく。
- ⑥ 代名詞や接続詞、副詞等を用いながら、文と文のつながりのある文章にする。
- ⑦ チェックシートを基にグループ内で読み合い、コメントし合う。
- ⑧ 改善点を基に、スピーチ原稿を再考し、完成させる。

このような手順を通して、それぞれの言語活動を関連付けた段階的な指導を行うことで、相手や目的に応じた表現方法について思考し、判断する力を養っていきたい。

スピーチの音読練習では、まずモデルスピーチを聴かせ、効果的なスピーチを行う上での留意点について考えさせる。聞き手に伝わりやすい話し方を工夫し、強弱、スピード、抑揚、間などに注意させる。伝えたい大切な語句にアンダーラインを引かせ、その語を強調して発音させることで、より聞き手に伝わりやすいスピーチを意識させたい。また、スピーチ発表時では、聞き手に感想や質問などのやり取りを行わせることで、一方通行ではなく、聞き手を巻き込む発表にする。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 （自己を認識する力、 自分の人生を選択する力）	コミュニケーション能力 （表現する力）		
	レベル 1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やり取り） ○話を聞いて質問することができる。
	レベル 2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やり取り） ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。
	レベル 3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	（書く・話す・表現 talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やり取り） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。
	レベル 4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、（大人の力も借りながら）自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。		

6 単元目標

- (1)職業に関する語彙や不定詞を用いた文の形・意味・用法についての知識を身に付け、その知識を基に、職場体験学習や将来の夢などについて事実や自分の考えなどを整理して表現する技能を身に付けること。【知識・技能】
- (2)ALTのクリス先生に、職場体験学習の内容や将来の夢などについて伝えるために、事実や自分の考えなどを整理して、簡単な語句や文を用いて話したり、書いたりすること。【思考・判断・表現】
- (3)ALTや相手の立場に立って考え、聞き手や読み手に配慮しながら、職場体験学習の内容や将来の夢などについて、簡単な語句や文を用いて伝えようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

7 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
〔知識〕 職業に関する語彙や不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 職場体験学習や将来の夢などについて、事実や自分の考えなどを整理し、職業に関する語彙や不定詞などを用いて表現する技能を身につけている。	ALTのクリス先生に、職場体験学習の内容や将来の夢などについて伝えるために、事実や自分の考えなどを整理して、簡単な語句や文を用いて話したり、書いたりしている。	ALTや相手の立場に立って考え、聞き手や読み手に配慮しながら、職場体験学習の内容や将来の夢などについて、簡単な語句や文を用いて伝えようとしている。

8 指導計画（全 11 時間）

教科・領域の本質的な問い

英語を通して、他者とのよりよいコミュニケーションを図るにはどのようにすれば良いのか。

時間	学習課題 ねらい 指導内容	重点	記録	生徒の行動・思考	評価 〔評価方法〕
1	学習課題：将来について考えよう。 ねらい：単元の目標を知り，学習の見通しを持つ。 ○小学校 6 年の単元（My Future, My Dream）での夢宣言を提示する。 ○ビデオメッセージを提示する。 ○職場体験学習の目的を考えさせ，単元を貫く問いの設定を行う。単元を貫く問いの設定により，学習の見通しをもたせる。	態		・ 小学校での夢宣言を想起し，既習事項を整理する。 ・ ビデオを視聴し，単元の最後に行うスピーチについて見通しを持つ。 ・ 職場体験学習を振り返り，働くことへの興味・関心を高める。	職場体験学習や将来の夢について相手に詳しく伝えるために，内容を考えることができる。
単元を貫く問い 職場体験学習を通して今これからの考える ～新しく日本に来た ALT に，自分たちの職場体験学習を紹介しよう～					
2	学習課題：自分ってどんな人？ ねらい：自分が好きなことや得意なこと，興味があること，将来の夢について紹介することができる。 ○好きなことや得意なこと，興味があることについて考えさせて，キーワードを英語で書かせる。そのキーワードをもとに，ペアやグループでやり取りを行わせる。 ○やり取りしたことを基に自己紹介文を書かせる。	知		・ I like ~ing / to ~. My favorite ~ is I'm good at ~ing. I'm interested in ~ It's interesting to ~. などの表現を理解する。	不定詞や動名詞の形・意味・用法を理解している。
3	学習課題：職業クイズを作ろう。 ねらい： 職業の語彙を理解するとともに，その職業の内容を英語で説明できる。 ○前時の基本表現の口頭練習を行い，基本表現を定着させる。 ○前時の自己紹介文をグループ内で交流し，聞き取ったことをメモさせる。 ○職業を表す語句の口頭練習 ○職業の three hint quiz を作らせる。 ・ どこで働いているか。 ・ 何をする職業か。 ・ なるために大切なことや，仕事をする上で必要なものは何か。	知		・ 自己紹介文で用いられた基本文を理解する。 ・ I work at ~. I take care of children. It's important to ~. It's important that ~. I need to ~. などを用いて表現する。	職業に関する語彙や不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。

4	学習課題：将来の夢を実現するために大切なことはなんだろう？ ねらい：将来の夢について簡単な語句や文を用いて表現することができる。 ○three hint quiz ○自己紹介文を交流させる。 ○将来の夢とその理由，それを実現するために大切なことなどについて考えさせて，キーワードを英語でメモさせる。そのキーワードをもとに，ペアやグループでやり取りを行わせる。 ○やり取りしたことを基に将来の夢について書く。	知		・前時で作成したクイズをもとに，英問英答をする。 ・I want to be a ~. - I need to ~. - It's important to ~. - It's necessary to ~. - It's important that ~. - It's necessary that ~. などを用いて表現する。	職業に関する語彙や不定詞の意味を理解している。
5	学習課題：職場体験学習で体験したことを伝えよう。 ねらい： 職場体験学習で体験したことについて過去形を用いて表現することができる。 ○職場体験学習について書かれた英文を読ませ，発問に答えさせる。 ○由紀の立場で，職場体験学習についてやり取りを行わせる。 ○本文を参考に，自分の職場体験学習についてやり取りを行わせる。 ○やり取りしたことを基に，職場体験学習で体験したことについて過去形を用いて英文を書かせる。	知		・職場体験学習について書かれた英文を読んで，概要を捉える。 ・本文の内容から，職場体験学習について伝える際に活用できる表現を見付ける。 ・I went to a nursery school near the station. - I sang songs and played with the children. - I had a wonderful time there. などを用いて表現している。	職業に関する語彙や不定詞の意味を理解している。
6	学習課題： 職場体験学習について詳しく伝えよう。 ねらい： 職場体験学習で学んだことについて表現することができる。 ○職場体験学習について書かれた英文を読ませ，発問に答えさせる。 ○武史の立場で，職場体験学習についてやり取りを行わせる。 ○本文を参考に，自分の職場体験学習についてやり取りを行わせる。 ○やり取りしたことを基に，職場体験学習で体験したことに加えて，学んだことについて英文を書かせる。	知		・職場体験学習について書かれた英文を読んで，概要を捉える。 ・本文の内容から，職場体験学習について伝える際に活用できる表現を見付ける。 - I went to a supermarket near my house. I said loudly, "Irasshai-mase." to welcome customers. I learned that greetings open the door to good communication. などを用いて表現している。	職業に関する語彙や不定詞の意味を理解している。
7	学習課題：分かりやすいスピーチにするにはどうすればいいのだろう。 ねらい： 英語の文章構成や，接続詞及び代名詞の働きについて理解することができる。 ○前時のインタビューを参考に，自分の職場体験学習の内容と将来の夢についてやり取りを行わせる。 ○スピーチ原稿を一文一文短冊にしたものを並べさせて原稿を組み立てさせる。 ○分かりやすい文章にするために必要な文章構成や結束性について考えさせる。	知		・文章が3段落構成 (opening body ending) になっていることや，接続詞や代名詞等を用いることで文と文のつながりが明確になることを理解する。	英語の文章構成や，文の結束性について理解している。

8	【本時】 学習課題：ALTに職場体験学習を紹介するスピーチ原稿を書こう。 ねらい：スピーチの文章構成を意識しながら、職場体験学習の内容や将来の夢について5文以上の英文で表現することができる。 ○自分の職場体験学習や将来の夢などについてやり取りを行わせる。 ○まとまりのある文章にするためのスピーチの文章構成について再確認する。 ○やり取りしたことを基に、職場体験学習の内容と将来の夢について、文章の構成を考えながら、英文を書かせる。	思		・やり取りを通して、本時までに学習したことを復習する。 ・モデル文を参考に、文章構成を考えながら、やり取りでの答えを1文ずつつなぐようにして原稿を作成していく。	職場体験学習の内容や将来の夢などについて伝えるために、事実や自分の考えなどを整理して、簡単な語句や文を用いて話したり、書いたりしている。
9	学習課題：職場体験学習の内容や将来の夢についてスピーチ原稿を完成しよう。 ねらい：職場体験学習の内容や将来の夢について、語と語のつながりや文と文のつながりに気をつけながら、スピーチ原稿を完成させることができる。 ○スピーチ原稿の評価基準を示す。 ○チェックシートを基にグループ内でスピーチ原稿を読ませて相互評価させる。 ○改善点を基に、スピーチ原稿を推敲し、完成させる。	思	○	・まとまりのある文章にするためのスピーチの文章構成や結束性について再確認する。 ・友達のコメントを基に、文を修正したり、つけ加えたりして、さらに詳しい内容の原稿に仕上げる。	職場体験学習の内容や将来の夢などについて伝えるために、事実や自分の考えなどを整理して、簡単な語句や文を用いて書いていく。 〔ワークシート〕
10	学習課題：聞き手に分かりやすいスピーチとはどんなスピーチだろう。 ねらい：聞き手に分かりやすいスピーチにするには、音量やスピード、抑揚、間などに気を付けて、表情豊かに表現することが大切であることを理解する。 ○モデルスピーチを視聴させ、話者が思いを伝えるために、どのような工夫をしているのか考えさせる。 ○自分が伝えたい語句は何か考えさせながら、スピーチ原稿にアンダーラインを引かせる。 ○グループでスピーチを交流させて、相互評価させる。 ○改善点を基に、動画記録やドキュメントの音声入力を活用しながら、スピーチ練習に取り組ませる。	態		・強弱、スピード、抑揚、間などを変えることにより、相手に自分の思いが伝えやすくなることに気づく。 ・モデルスピーチや友達のスピーチから、自分のスピーチに取り入れることができそうなことを考え、練習をする。 ・動画記録を基に自己評価を行い、修正をすることができるようにする。	聞き手に配慮しながら、職場体験学習の内容や将来の夢などについて、表情豊かに伝えようとしている。

11	学習課題：ALT のクリス先生に、自分たちの職場体験学習や将来の夢などについて表情豊かに伝えよう。 ねらい：音量やスピード、抑揚、間などに気を付けて、表情豊かにスピーチをすることができる。 ○スピーチ発表の評価基準を示す。 ○スピーチを発表させる。 ○聞き手は感想を述べさせたり、質問をさせたりする。 ○自己評価と相互評価をさせる。	態 思	○	・表情豊かに伝えるために大切な音声上の留意点や発表態度について確認する。 ・スピーチの取組を振り返り、次への活動に生かす。	聞き手に配慮しながら、職場体験学習の内容や将来の夢などについて事実や自分の考えなどを整理して、表情豊かに話している。〔スピーチ〕
----	---	--------	---	--	--

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○文章構成を意識しながら、職場体験学習の内容や将来の夢について5文以上の英文で表現することができる。

(2) 本時の評価規準

○職場体験学習の内容や将来の夢などについて伝えるために、事実や自分の考えなどを整理して、簡単な語句や文を用いて話したり、書いたりしている。【思考力・判断力・表現力】

(3) 準備物

・電子黒板、クロームブック、ワークシート

(4) 本時の流れ（8時間目／全11時間）

過程	□学習活動 教師と生徒のやり取り	指導上の留意事項（○） ・予想される生徒の反応（・）	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 【評価方法】
1 導入 10分			
導入	□ あいさつ □ 【帯学習】 three hint quiz □ 【帯学習】 Chat 教師 Where do you want to visit if you go abroad? 生徒 I want to visit America. 教師 What do you want to do there? 生徒 I want to watch a baseball game. 教師 Why do you want to do that? 生徒 Because I'm interested in Major League. □ 生徒同士でやり取りを行う。 □ 学習課題を設定する。 ALT のビデオメッセージを見る。	○職業に関する語彙の復習を行う。 ○既習の不定詞の復習を行い、本時での活用を促す。 ○英語を使おうという意欲を喚起させる。 ○単元のゴールを再確認させる。	導入の工夫 単元を貫く問い
学習課題 ALT に職場体験学習を紹介するスピーチ原稿を書こう。 ねらい 文章構成を意識しながら、職場体験学習の内容や将来の夢について5文以上の英文で表現することができる。			

2 やり取りを通してお互いの体験について交流する。(15分)			
展開 前半	☐ やり取りの基本表現を確認する。 教師 Where did you work on Career Day? 生徒 I worked at a supermarket. 教師 How was your work experience? 生徒 It was good / interesting / nice / hard. 教師 Oh, really? What did you do? 生徒 I greeted customers, put products on the stand. 教師 Did you learn anything? 生徒 Yes. Greetings are important. 教師 What do you think of your future? 生徒 I want to be a nurse. 教師 Nice dream. Why? 生徒 I want to help sick people. 教師 What will you do for your future? 生徒 I'll study science harder. ☐ ペアでやり取りを行う。 ☐ 全体で数名がやり取りを発表する。	○教師とのやり取りを通して、職場体験学習について想起させる。 ○生徒の職場体験の写真を提示しながら、質問に答えさせる。 ○前時で準備したキーワードを活用して、やり取りを行わせる。 ○書く活動の前にやり取りを行わせることで、スムーズに書く活動に繋げる。	
3 文章構成を考えながら、メモを頼りにスピーチ原稿を書く。(20分)			
展開 後半	☐ 分かりやすい文章にするために必要な文章の構成や語順、便利な表現を確認する。 ☐ モデル文の文章構成を参考に、職場体験学習と将来の夢について3段落構成でスピーチ原稿を書く。(クロームブックを使用する。)	○3段落構成(opening body ending)になっていることを確認する。 ○語順カードを提示して、英語の語順を確認する。 ○学習のねらいを確認するために、評価基準(体験場所、体験内容、学んだこと、将来の夢、今後の目標の5点について書くこと)を指示する。 ○自信のない生徒には、やり取りでの答えを1文ずつつなぐようにして原稿を作成すればよいことを伝える。 ○作業に行き詰っている生徒にはヒントカードを渡す。 ヒントカードの一例 語順に注意 誰が どうする 何を どのように どこで いつ 〔導入〕どこで働いたかを述べる 私は / 働いた / ～で / ～の近くの ○聞き手に理解してもらえるような表現や語彙を選択するよう指示する。 ○机間指導し適宜アドバイスする。 ○アウトラインを書くことができた生徒には、体験したことについて内容を膨らませる文を付け加えるなどして、さらに説得力のある文章に仕上げるよう指示する。	ICTの活用 職場体験学習の内容や将来の夢などについて伝えるために、事実や自分の考えなどを整理して簡単な語句や文を用いて話したり、書いたりしている。【思考力・判断力・表現力】

4 振り返り [5分]			
まとめ・終末	☐ 全体で数名が書いた文章を発表する。	○積極的に発表したことについてプラスのフィードバックをする。	
	予想される生徒の記述の例 I worked at a supermarket near the station on Career Day. I greeted customers, put products on the stand. It was hard, but I enjoyed it a lot. I learned greetings are important. In the future, I want to be a nurse because I want to help sick people. To be a nurse, I'll study science harder.		
	☐ 振り返りを書く。	○疑問点を把握し、次時の指導に活かすため、主に疑問点について書かせる。	
	生徒の振り返りの例 ・職場体験学習と将来の夢について、5文以上で書くことができた。 ・「○○○○○」についてどう書けばよいかわからなかった。		
		○次時は、グループで交流して、スピーチ原稿を推敲して完成させることを伝える。	

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	評価規準
B（おおむね満足できる）	文章構成に基づき、過去形や不定詞等を用いて、職場体験学習の体験場所、体験内容、学んだことや感想、将来の夢、今後の目標の5点について、5文の英文で書いている。
C（努力を要する）	文章構成に基づき、過去形や不定詞等を用いて、職場体験学習の体験場所、体験内容、学んだことや感想、将来の夢、今後の目標の5点について書くことができていない。

（5）板書計画

Wednesday, September 25 th sunny 13:50 p.m.	
単元名	A message to Myself in the Future
ねらい	文章構成を意識しながら、職場体験学習の内容や将来の夢について5文以上の英文で表現することができる。
学習課題	ALTに職場体験学習を紹介するスピーチ原稿を書こう。
誰が どうする 何を どのように どこで いつ	
モデル文	Opening 職場体験の場所
	Body 職場体験の体験内容 学んだことや感想
	Ending 将来の夢 今後の目標